

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

漆小学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

家庭学習チェックポイント5

蒲生ブロック学力向上推進委員会

- 1 学習スペースはきちんと整理整頓できていますか。
- 2 集中して考えられる静かな環境で学習できましたか。
- 3 決められた時間に家庭学習に取り組むことができましたか。
- 4 家庭学習の内容を見届け、励ましの声かけをしましたか。
- 5 テレビ、ゲーム、インターネット、携帯電話（スマホ）について、家庭のルールを守らせてていますか。



メディアコントロールに
チャレンジしよう！！



年名前

おうちの人と決してコースを決めて、メディアコントロールにチャレンジしましょう。

	◆かわいいコース◆ 1日まったくテレビ、ビデオ、YouTube等のメディアを見ない。ゲーム等もしない。
	◆かわいいコース◆ メディアコントロールは、1日2時間までとする。見る経緯などは、家族で話し合う。
	◆じぶんコース◆ 後の()時間は、メディアを見ない。しない。
	◆じぶんコース◆ 食事時間は、メディアを見ない。しない。
	◆かわいいコース◆ 家庭で選んだ方法です。 ()

ぼくの、わたしの家では

コースにチャレンジします。

がんばったことを書きましょう。(子ども記入欄)

親子で取り組んだ時間を記入ください。(保護者記入欄)

↑ 毎月23日は親子読書の日。スマホ・テレビ・ゲーム等9:00OFFなど、メディアとの付き合い方を考えて取り組みます。

↓家庭学習強調週間の取組

☆ 上記のチェックポイントに沿い、家庭学習を見直す期間があります。

家庭学習がんばりカード

()年名前	めあて	家庭学習の時間	時 分～時 分				
6月17日から「家庭学習強調週間」です。自分の家での学習のよさを振り返り、よりよい習慣を身につけましょう。(記入は19日～25日まで)							
おうちのみさんは、おうちの人のいっしょに、かわいください。							
日ごろ	6月19日(木)	6月20日(金)	6月21日(土)	6月22日(日)	6月23日(月)	6月24日(火)	6月25日(水)
学習したあと (〇でかこ)	プリントの宿題 漢字・計算 日記 今日の復習 明日の予習 その他()						
決まった時間で、 決まった時間で、 家庭学習時間 (上級者の合計)	時間 分						
テレビゲームの時間	時間 分						
おうちの人の想	おうちの人の想	おうちの人の想	おうちの人の想	おうちの人の想	おうちの人の想	おうちの人の想	おうちの人の想

* 罫子で詳しく、学習する時間帯を必ず決めましょう。自分が決めた時刻・時間はしっかりと守りましょう。

* このカードは、毎朝、担任の先生に提出しましょう。

○ MGCの取組

【小学5・6年生のMGC】

「自主的な学習を習慣付けするために、自学ノートに取り組んだ家庭学習」

★ポイント

- ・ 年度初めに保護者へ出したお知らせの例

○ 自主学習がんばろう

5・6年生は、与えられた宿題だけではなく自主的な学習の習慣を付けるため自主学習に取り組ませていきます。自主学習を頑張っている友達の学習の方法を紹介したり、自分なりの学習の仕方を考えさせたりしながら、自分のための学習、自分に合った学習の進め方等を是非、身に付けてほしいと思います。

※ 中学校に向けて、5・6年生は90分の家庭学習の習慣をつけさせたいです。宿題が早く済んだら、残りの時間を自主学習や読書の時間に充てるよう心掛けさせてください。毎日の積み重ねが大きな実力になります。“継続は力なり”頑張っていきましょう。

・これまでに行った工夫や成果の例

- ※ 毎週週報に、自主学習を頑張った児童を紹介している。(今週のトップで賞、グッドで賞)
- ※ 家庭訪問や学級PTA、週報などで保護者への啓発を行っている。
- ※ 宿題が終わった後の時間、自主学習をする習慣がついている児童が増えつつある。
- ※ 単元テスト前に、自主的にテスト勉強を頑張る姿が見られる。
- ※ 自分で決めた問題集を継続的に取り組んでいる児童もいる。
- ※ 自分が頑張りたい学習に進んで取組よい成果が出ている。
 - ・ 英語の学習(単語や英文を覚えるために書く)を頑張り、英検を受け合格。
 - ・ 好きなことわざを書いて覚え、語彙力を高めている。
 - ・ 運動・スポーツの技を調べ、ポイントを押さえ実技につなげている。
 - ・ 社会の歴史学習で学んだ歴史人物や年号などを自分なりに分かりやすくまとめている。

～「市家庭学習の手引き」「家庭学習マイゴールチャレンジ」の説明と配布～

- * PTA理事会、学校保健委員会や家庭教育学級で本校児童の学習時間の実態を紹介。全国・県に比べ、特に休日の家庭学習時間が短いことを説明。低40分、中60分、高90分目安+読書時間の確保と、目標に向けた主体的な学習内容の推進を保護者に直接呼びかけた。また、家庭学習強調週間前には、保護者向けプリントを配布した。

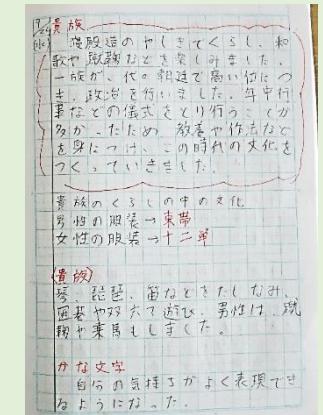


図1 児童の自学ノートの例